

# 平成 26 年度アイヌ施策課予算案概要

## 施策目標 1 : 市民理解の促進

### 推進施策 (1) : 伝統文化の啓発活動の推進

#### ①アイヌ文化体験講座の実施

アイヌ語、手芸、工芸、料理等の体験講座を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

開催回数：24 回

参加者数：172 人

開催場所：アイヌ文化交流センター・中央区民センター等 5 か所

#### ②アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺繍等製作体験、昔話、昔遊び、紙芝居等を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

開催回数：6 回

参加者数：1,478 人

#### ③小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施する。(参加校を 50 校に拡大予定)

【平成 25 年度事業実績】

参加校数：44 校

参加児童・生徒数：2,859 人

#### ④公共空間を利用した情報発信

さっぽろ夏まつり等のイベントの開催に合わせて、アイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

さっぽろ夏まつり会場 THE サッポロビヤガーデンふるさと PR ステージにおけるアイヌ伝統舞踊等の紹介

さっぽろ雪まつり開催期間に地下歩行空間で、アイヌ文化体験コーナーを設置

#### ⑤インカルシペ・アイヌ民族文化祭の実施助成

・アイヌ協会札幌支部が開催するアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史・人権等に関するパネル展示に補助を行う。

【平成 25 年度事業実績】

上記と同じ事業を実施 参加者数：延べ 11,170 人

#### ⑥社北海道アイヌ協会札幌支部への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進活動やアイヌ子弟に対する学習支援活動、アイヌ民族の現状や人権等に関する講演の開催、アイヌ文化に関する啓発活動費用等に対し、補助を行う。

【平成 25 年度事業実績】

同支部に対し 1,200 千円を助成

#### ⑦アイヌ民族に関する人権啓発と歴史・文化の紹介

・アイヌ伝統文化紹介リーフレットの制作【新規】

人権に関する啓発や伝統文化を紹介するリーフレットを制作し、市内の図書館等に配架する。

・ノート配布

市内小学校 4 年生及び学校関係者にアイヌ民族の文化等を紹介する啓発ノートを配布する。

【平成 25 年度事業実績】

ラッピングバス運行の通年運行、啓発ノートの配布（約 2 万部）

#### ⑧アイヌアートモニュメントの設置

アイヌ文様を施した大型のタペストリーを制作し、札幌国際芸術祭の開催時期に合わせて、市内中心部に設置する。

【平成 25 年度事業実績】

アイヌアートモニュメント設置検討会議を 3 回開催、モニュメント制作者選定委員会を 2 回開催。

## 推進施策（2）：教育等による市民理解の促進

#### ①市新任課長研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向等について研修を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

開催日時：平成 25 年 11 月 29 日（金）午後 1～5 時

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

#### ②市新採用職員研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権に関する基礎研修を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

開催日時：平成 25 年 4 月 2（水）～5 日（金）

開催場所：本庁会議室、WEST19

受講者数：524 名

### ③出前講座の実施【新規】

地域向けにアイヌ文化交流センターの紹介やアイヌ伝統文化、歴史などの情報を提供する出前講座を実施する。

## 施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興

### 推進施策 (1) : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

### 推進施策 (2) : 伝統文化活動の推進

#### ①札幌市アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興、市民との交流等を促進するため、札幌市アイヌ文化交流センターを運営する。

- ・展示室等の運営
- ・アイヌ文化体験講座
- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・小中高生団体体験プログラム 等

#### **【平成 25 年度事業実績】**

来館者数 54,251 人（平成 26 年 2 月末現在）対前年度比 11.6%  
（24 年度 50,343 人）

#### ②イオル事業運営に対する協力

札幌地域におけるアイヌの伝統的生活空間再生事業（イオル事業）を推進するため、事業主体である財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構から事業を受託する。

26 年度は、自然素材育成事業、体験交流事業、ライブラリー事業を実施する。

#### **【平成 25 年度事業実績】**

自然素材栽培用地の造成（清田区）、サラニプ作り体験 22 名（2 回 5 日間コース）、子ども遊び体験 22 名（2 回）、アイヌ料理体験 27 名（2 回）、ライブラリー事業 5 名（石狩アイヌの伝統文化等に関する聞き取り調査）

## 施策目標 3 : 生活関連施策の推進

### 推進施策 (1) : 産業振興等の推進

#### ①工芸品の振興検討事業

アイヌ伝統工芸品の展示販売の試行やアンケート調査の結果を踏まえ、販売に必要な諸条件や課題等を整理する。

#### **【平成 25 年度事業実績】**

札幌駅前地下歩行空間において「さっぽろ雪まつり」の開催に合わせて、工芸品展示販売を試行的に実施（平成 26 年 2 月 4～11 日）

札幌駅前地下歩行空間オープン 3 周年イベントの開催に合わせて、工芸品展示販売を試行的に実施（平成 26 年 3 月 18～23 日）

## 推進施策（２）：生活環境等の整備

### ①住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境整備改善のため、住宅の新築、改修及び宅地の取得資金に対し、貸付を行う。住宅新築 22,800 千円（3 件）、宅地取得 17,700 千円（3 件）

【平成 25 年度事業実績】

なし

### ②アイヌ生活相談員の配置

アイヌ生活相談員を 2 名配置し、生活に関する相談に対応する。（1 名はアイヌ文化交流センター、1 名は共同利用館に配置）

※アイヌ教育相談員は、教育委員会が配置する。

### ③アイヌ民族の児童・生徒に対する学習支援

夏季・冬季休業期間等を利用してアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行う。

【平成 25 年度事業実績】

夏季：平成 25 年 8 月 5 日～9 日 中央区民センターで実施 参加者数：20 名

冬季：平成 26 年 1 月 6 日～10 日 中央区民センターで実施 参加者数：20 名

## その他

### ①国のアイヌ政策推進会議への参加

アイヌの人々の意見を踏まえつつ総合的かつ効果的なアイヌ政策を推進するため、国において設置したアイヌ政策推進会議に札幌市長が委員として出席し、意見交換を行う。

【平成 25 年度事業実績】

民族共生の象徴となる空間の基本構想などを議題として、平成 25 年 9 月 11 日（水）に道庁赤レンガで開催。（札幌市長出席）

### ②札幌市アイヌ施策推進委員会の運営

札幌市アイヌ施策推進計画に基づき、施策の実施状況を検証評価するとともに、新たな施策や計画の見直し等について審議する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・第 1 回札幌市アイヌ施策推進委員会（平成 25 年 8 月 6 日（火））  
概要：平成 24 年度事業実績報告、平成 25 年度アイヌ施策について
- ・第 2 回札幌市アイヌ施策推進委員会（平成 25 年 12 月 10 日（火））  
概要：平成 24 年度札幌市アイヌ施策検証評価について
- ・第 3 回札幌市アイヌ施策推進委員会（平成 26 年 3 月 24 日（月））  
概要：平成 26 年度アイヌ施策について

### ③イランカラブテキャンペーンの推進

公共空間や出前講座等において、国や北海道とともに取り組むイランカラブテキャンペーンを展開する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・地下歩行区間におけるポスター、リーフレット配架
- ・地下歩行空間における PR ムービーの放映

- ・民生児童委員向け啓発
- ・イオル体験事業参加者向け啓発
- ・小学校4年生向け小冊子を活用した啓発